



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第17号 NO. 017

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2017年3月19日

「普通救命講習」実施報告

平成28年度「事業計画」に基づき、救急知識の向上を図る目的から「普通救命講習」を実施致しました。

日 時 実施日時 平成29年3月18日(土曜日) 9:30~12:30
場 所 神奈川消防署 2階会議室 横浜市神奈川区広台太田町3-8
出席者 日本防災士会 横浜支部 会員23名
講 師 横浜市消防局 神奈川消防署署員2名

講習内容

- (1) 支部長のあいさつ後、講師による受講についての心構えについて話があり、約30分のDVDを視聴しました。
- (2) 講師による傷病者に対する対応など説明があり、二次的事故を防止するための安全確認や傷病者の容体観察方法等の指導を受けた後に実技に移行しました。

◆実技について

- ・二次的事故を防止するための周囲の安全確認
- ・安全確認後、傷病者の反応(意識)確認・・・傷病者の耳元で声をかけながら、鎖骨の辺りを最初は軽くたたき、だんだんと強く3回ぐらい行う
- ・反応がない場合119番通報すること。(周りの人に頼むこと、自宅の場合は、一人でこれらのことを実施しなければならない事もあります。)
- ・呼吸の観察については、顔をおなかの方に向けて10秒間確認する。呼吸がない場合は救急車が来るまで救命処置を実施する。心肺蘇生を行う必要がある。
心肺蘇生とは「人工呼吸」と「心臓マッサージのための胸骨圧迫」を行うことです。胸骨圧迫30回に対し、人工呼吸は2回、この状態を救急車が到着するまで実施する。

◆AEDについて

- ・AED(自動体外式除細動器)
A: Automated(自動化された)、
E: External(体外式の)、
D: Defibrillator(除細動器)です。
- ・AEDについても、反応がない場合、周りの人に持ってきてもらうよう協力をお願いします。
- ・取り扱いについては、音声ガイドに従って実施すれば、誰にでも出来るようになっている。



普通救命講習者(横浜支部会員)



胸骨圧迫の実技



AED 取り扱い実技

詳細は一次救命処置の手順、心肺蘇生法ガイドライン 2015 版を参照。

◆横浜市の救急状況

横浜管内における救急出場件数は約17万件

2分59秒に1回出場している。

年間横浜市の人口の約20人に1人の割合で救急車を利用したとのことです。

救急講習を受けた、ここ神奈川消防署管内でも救急事象に対応出来ないことから、救急車を1台増強するそうです。

現在は、市民のみならず、119番で救急要請の通報がされてから、救急車が現場に到着するまでの所要時間は約9分で、昨年より1分遅くなったとのことです。

◆今後の救命講習受講について

今後ますます救急事象は増加することを考えると「防災士」として出来る範囲内で傷病者の救護活動を図る目的から救命講習を継続していきたいと考えております。

傷病者の救護方法も年々、観察方法、心臓マッサージの回数、人口呼吸等も変わりますので、3年間を過ぎない「普通救命講習修了証」をお持ちの方も、新しい知識を知りたい方は受講された方が良いと思います。

新年度におきましても「事務事業計画」により対応して行きます。

この「普通救命講習」には、受講料として1名1,000円(テキスト代)がかかりますが、防災士・横浜支部会員にたいしては、半額500円を助成させて頂いております。

文責:支部長 今井 淳

鹿島田商店街防災交流フェア参加報告

日時 実施日時 平成29年3月19日(日曜日) 11:00~16:00

場所 川崎市幸区鹿島田一丁目 新川崎パークタワー広場
(JR南武線鹿島田駅から徒歩1分東側広場)

参加団体 日本防災士会横浜支部 3名 今井・徳江・乾

鹿島田商店会会長・会計・町内会役員・セーフティ&ベル・シンガーソングライター・その他防災グッズ等
販売模擬店

実施内容

今回も、日本防災士会横浜支部と致しましては、前回同様「家具転倒防止器具」の展示、三角巾による包帯法、写真パネルの展示を行いました。

前回(1月12日)の会場は1カ所でしたが、今回は第1会場と第2会場に分かれての実施となりました。第一会場には鹿島田商店本部と日本防災士会横浜支部の会場として使用し、広場にきた人を対象に「家具転倒防止器具」や通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」器具などについて展示・説明などを実施致しました。三連休の中日と言うことで人通りもそれほどでなく少し寂しい感じでした。

この鹿島田商店会においては、毎月防災フェアを実施しており、日本防災士会横浜支部にも毎月の防災活動について要請があります。

今後は、鹿島田商店会会長と事前に実施方法について検討することに致しました。



鹿島田商店防災フェア会場

文責:支部長 今井 淳